

街かど

かわら版

19世紀を席卷した
2人の役者絵師

傾く役者絵

2023 春期 浮世絵展
4/29 (土) — 6/18 (日)

観覧料 大人 500円(400) 高校生以下無料
()内は10名様以上の団体割引料金
開館時間 10:00 ~ 17:00
休館日 月・火曜日(祝日は開館)

八戸の街かどにある日本文化の意外な“発見”!

八戸クリニック

Hachinohe Clinic Machikado Museum

街かどミュージアム

八戸市柏崎1丁目8-29 TEL 0178-32-7737



HP



@machikado_mus



@machikado_museum

後援／八戸市教育委員会 デーリー東北新聞社 東奥日報社 コミュニティラジオ局 BeFM

※当館でのお支払いは現金のみとさせていただきます。クレジットカード、電子マネー等はお使用になれません。



●歌川国貞
今様押絵鏡 濡髪長五郎
河原崎権十郎 安政6年



●歌川国貞
放駒ノ長吉(三枚組の内)
安政1年



歌川国貞(三代豊国) 1786—1865

歌川派中興の祖・歌川豊国の弟子で「豊国」の名を継ぎ、役者絵や美人画を中心に1万種以上の作品を手掛けた絵師。同時期の広重・国芳を凌駕する人気を誇り、浮世絵史上最も売れ、多くの弟子を育てた。



●歌川国貞
涼調珍盛の七草 福岡貢 嘉永5年

傾く役者絵

19世紀を席卷した2人の役者絵師

今年3月、八戸市公会堂でも、歌舞伎の大名跡・十三代目市川團十郎白猿の襲名披露興行が行われました。「歌舞伎」の語源は「傾く」が名詞化したもので、新奇や異様な行動・風体を意味し、さらに、戦国末期から江戸初頭の徳川家康が生きた時代に、派手な身なりで常識を逸脱した自由奔放な無頼・遊侠の徒は「かぶき者」とされました。現在、伝統芸能となっている「歌舞伎」の基底には、この派手さや異様な風体、そして反骨精神があります。それは、歌舞伎と共に発展した「役者絵」にも反映されており、今では「役者絵」はその雰囲気や直接伝える最良な資料でもあります。本展では、数ある幕末・明治の役者絵の中から、19世紀を席卷した2人の絵師を中心に、派手で斬新でカッコいい役者絵をたっぷりご紹介致します。



●歌川国貞 當世好男子伝 竹 安政6年



●歌川国貞 夏祭意気地ノ江戸っ子一寸徳兵衛 団七九郎兵衛 安政5年

2023 春期展



●豊原国周
江戸の花若手五人揃の内
鷹の傳吉 市村家橋 元治1年

豊原国周 1835—1900

歌川国貞の高弟で、明治期の歌舞伎が近代化へ向う時代に活躍し、後に「明治の写実」とも称された。浮世絵隆盛期最後の大絵師であり、国周の死と共に、浮世絵の時代は終わりを告げた。

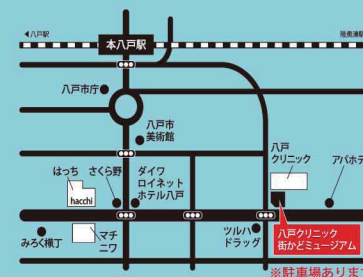
●豊原国周
梅幸百種之内 黒手組助六 明治27年



●豊原国周
梅幸百種之内 弁天小僧 明治26年



●豊原国周
市川團十郎演芸百番 和藤内 明治31年



街かどミュージアム かわら版 vol.44

発行 行／八戸クリニック 街かどミュージアム
発行責任者／小倉 学(館長・学芸員)
八戸市柏崎1丁目8-29 TEL/FAX: 0178-32-7737
発行日／令和5年4月1日
machikado@enjoy.email.ne.jp

K
U
N
I
C
H
I
K
A

K
U
N
I
S
A
D
A

K
U
N
I
C
H
I
K
A

https://historia8.org

歴史文化情報サイト

はちのへ

HACHINOHE HISTORIA

八戸を知り、八戸を通して日本を知る。

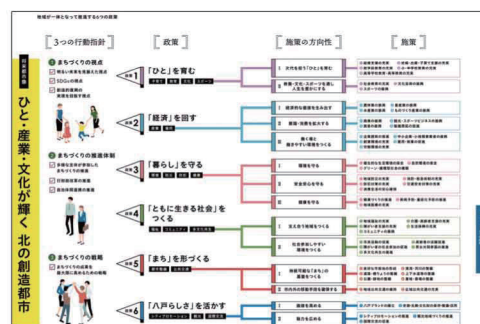
知ることとみえる情景がある。想像することと創られる未来がある。

2020年度より制作している、八戸歴史文化情報サイト「はちのへヒストリア」に、この3月、新たに「はちのへ文化譚」ページが追加されます。昨年までの2年間で、「八戸と日本の年表」「八戸の文化財の紹介」「マップによる八戸の歴史文化の紹介」ページを制作してきましたが、「はちのへ文化譚」は、これまで以上に「八戸ってどんな街？」なのかを、多様な視点でご紹介。政治・経済・産業・教育・環境・医療・福祉・



- … … … はちのへ文化譚の内容 … … …
- 在住外国人の母国語による八戸紹介 — スペイン・イギリス・中国・インドネシア・モンゴルなど
 - 各分野から八戸を紹介 — 八戸の民俗芸能や文化協会、観光政策や企業誘致、農業や八戸港についてなど
 - データ・計画書でみる八戸 — 八戸に関する様々な統計データや市が作成した計画書の内容などを分類紹介
 - 八戸の伝統工芸品 — 八戸の8つの県指定伝統工芸品基礎情報
 - 八戸の歴史文化関連論文 — 八戸の高等教育機関4校が刊行した『紀要』から、八戸関係約280本の論文の基本情報を分類掲載

今後も、各ページ内容の充実を図る他、八戸ペンクラブ会報誌『八戸 PEN』の記事の一部採録や地域の団体などとの「連携企画」、「八戸から深める基礎知識」「八戸を俯瞰するリンク集」など新たな企画も予定。



スポーツ…、地域のあらゆる側面・分野により地域文化は成り立っているという視点でつくられています。また、市民と観光者の多様な関わり合いの促進となる、基礎情報の提供を目指しています。

ミュージカル わらび座「北斎マンガ」公演決定

2023年
9月13日(※)
夜の部

チケット発売など
詳細は未定

八戸市公会堂 街かどミュージアム主催

秋田県仙北市を拠点に活動している劇団・わらび座。その創立70周年記念作品が、何と「北斎マンガ」!!

稀代の絵師・葛飾北斎の生涯を描くミュージカル。北斎の妻や娘、北斎とコンビを組みヒット作を連発した戯作者・曲亭(滝沢)馬琴など、周りの人々に支えられ、時にぶつかりながら、自分だけの道を歩く熱い北斎の姿が描かれています。脚本・演出は、NHK連続テレビ小説「まんてん」の脚本を担当し、昨年、紫綬褒章を受賞したマキノノゾミ氏。

これは、呼ばねば!! 乞うご期待



街かどミュージアム 映画上映会後援事業 「白マドの灯」とは



この事業は、誰でも気軽に映画上映会を主催できる環境を整えるための活動です。市内に映画館が無くなった今だからこそ、ただ映画を観るだけではなく、共に笑い・泣き・学び、人と人とのつながりを創出する、映画から派生する文化・コミュニティとして、上映会を楽しみませんか?

そんな地域の映画文化を夢見る取り組みで、上映会実施のためのノウハウの集約や資金を支援します。上映会を行いたい方は、是非街かどミュージアムまでお問合せ下さい。

ボランティアスタッフ募集!

お問合せは
街かどミュージアム
まで

昨年10周年を迎えた当館は、今年から始める映画上映会支援事業や公演会、また「はちのへヒストリア」の更なる展開など、今後、より一層地域社会への文化的貢献を積極的に進めていきたいと考えています。そこで、一緒に活動して頂けるボランティアスタッフを募集します。月1回から年数回、特定の時期だけの集中参加など、気軽に、出来る範囲で。一緒に、文化を楽しみながら、活動してみませんか?

主催：Inter-mission
後援：八戸クリニック街かどミュージアム「白マドの灯」
東奥日報社、デーリー東北新聞社、BeFM

北東北初上陸! 主演男優賞第3位
キネマ旬報2022

※ 第1回 後援上映会&アフタートーク ※
「あなたの微笑み」(上映時間103分)
5月13日(土) 開演14時—(開場13:30)
入場料：一般 1,000円/学生 500円
会 場：はちふくプラザ根城 多目的ホール
八戸市根城八丁目 8-155



上映会主催者らと「白マドの灯」についてのアフタートークもあります。

上映会お問合せ：mekeno2008@yahoo.co.jp

・ネーミング:「白マド」は、デザインにおける「余白」の意。映画の周辺(余白)に生まれる様々な取組み・活動=映画文化と捉えたもの。

・ロゴマーク:スクリーンと「白」の文字を意識したかたち。スクリーンから反射する光が観客席を照らすように、この事業が、地域の映画文化やそこに集う人々のつながりを明るく照らし続ける、そんなあたたかな光になりますように。



伊藤二子回顧展 / その一瞬

3.17(金)-4.2(日) 10:00-19:00

八戸市美術館 ギャラリー1・2 無料 火曜日休館

2019年1月に急逝した造形家・伊藤二子さんは、92才で亡くなるまで創作活動を続けました。二子さんのいのちのかけらでもある遺された絵を「八戸で大切にしてほしい」というご遺族の願いを受け、生前より篤い信頼を得て二子さんを支えていたデザイナー佐々木遊(Design & Creative アソビズ代表)を中心に、伊吉書院・街かどミュージアムにより、作品の管理や普及活動を行う団体「伊藤二子プロジェクト」が設立されました。本回顧展は、その活動の第一弾で、二子さんや作品を愛する方々へ所蔵して頂くため、作品の販売も行います。

HP: https://ito2ko.com MAIL: info@ito2ko.com TEL: 070-8305-1009
主催: 伊藤二子プロジェクト 共催: 八戸市美術館

